

議会 ながいずみ



3月定例会

28年度予算・・・・・・・・・・・・・2

委員会審議・・・・・・・・・・・・・4

ズバリ! 町政を問う

8人が一般質問・・・・・・・・・・・・・10

まちかどインタビュー・・・・・・・・・・・・・20

黄色い帽子で交通安全
～桃沢幼稚園入園式～



QRコード

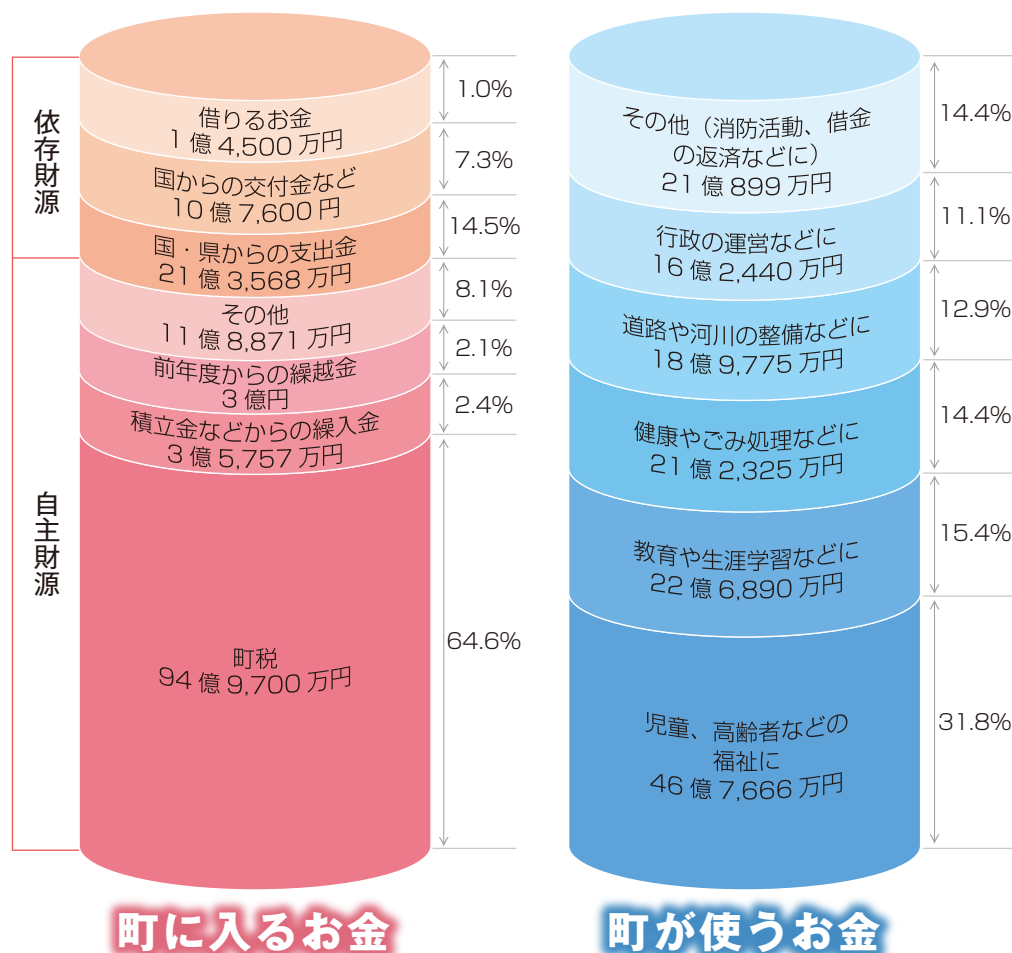
2016. 5.1
No.178

年4回発行(1・5・8・11月)

を目指して

3月
定例会

一般会計 過去最大規模 147 億円



3月定例会は、3月1日から23日までの23日間の会期で開かれました。初日の本会議で、町長から施政方針が示され、それに基づく一般会計予算をはじめとする30議案が提案されました。提案された議案は、各常任委員会などで慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

予算総額

1万円未満は切り捨ててあります。

会 計	28 年度	27 年度	前年度比
一 般 会 計	147 億円	136 億 6,000 万円	7.6% 増
国民健康保険事業	40 億 5,300 万円	40 億 300 万円	1.2% 増
後期高齢者医療	6 億 6,300 万円	6 億 3,400 万円	4.5% 増
介護保険事業	25 億 6,600 万円	25 億 3,400 万円	1.2% 増
下水道事業	9 億 4,000 万円	9 億 3,600 万円	0.4% 増
土地取得事業	52 万円	51 万円	1.9% 増
水道事業	12 億 6,909 万円	8 億 7,520 万円	45.0% 増
合 計	241 億 9,161 万円	*226 億 4,272 万円	6.8% 増

※1万円未満は切り捨ててあるため合計額は一致しません。

～住んで良かった・住み続けたい～

住民満足度の向上

重点施策

健康づくり・環境対策・子育て支援・高齢者支援
そして **教育支援**

New

主な事業		金額
各種がん検診の無料化	日本一のがん検診受診率を目指して、検診の自己負担を軽減	1億5,788万円
防犯灯の全灯LED化の推進	高照度型防犯灯のLED化を進め、32年度までに町内全域のLED化を推進	5,674万円
こども交流センター（仮称）の整備	旧温水プール跡地周辺に整備する官民連携複合施設内に、こども関連施設を整備	6,000万円
民間保育所整備の補助	待機児童を減少させるため、町内の社会福祉法人が実施する民間保育所整備の補助	1億4,478万円
北幼稚園の認定こども園化	待機児童を減少させるため、北幼稚園を認定こども園に改修	5,500万円
福祉会館の周辺整備	幅広い世代が一緒に憩い触れ合えるよう、旧保健センター跡地に展望テラスなどを整備	7,600万円
高齢者へのタクシー、バス利用助成	高齢者（75歳以上）の外出支援のため、タクシー、バスの利用料を助成	1,285万円
電子黒板の整備	ICTの活用で、魅力ある授業づくりを推進	5,037万円
英語指導助手の増員	英語教育のサポート体制の充実をはかるため、1人増員し、小学校に1人と各中学校に1人ずつ配置	1,225万円
定住人口の増加	三世代が町内に同居するための住宅購入費や改修費を補助	1,000万円
中土狩第二広場の整備	町民が気軽に憩い楽しむことができる身近な広場を整備	5,500万円

役場前庭に設置したニコニコ塔
～元気で明るいまちを目指すイメージデザイン～

28年度予算の委員会審議

～総務民生委員会～

公式ホームページ

公式ホームページ管理運営事業費

554万円

質疑 評価システムの内容は。

行政課長 利用したサイトの情報が役に立ったかどうかなどを評価していただくもの。利用者の評価や、寄せられたご意見は、ホームページを改修する際の資料として活用していく。

バス路線マップ

公共交通対策事業費
45万円

質疑 町内バス路線マップの規格サイズ、配布方法は。

企画財政課長 町内のバス路線図、時刻表を掲載し、持ち運びが便利なポケットサイズを予定している。バス利用の促進につながるような配布方法を検討する。

新・防災センター

防災センター（仮称）整備のための実施設計
2千400万円

質疑 施設の概要は。

企画財政課長 役場庁舎西側駐車場地内の南側部分に、鉄骨造2階建の建物を設置し、北側に駐車場を整備する予定。1階部分に防災倉庫や多目的フリースペース、2階部分に災害対策本部、地域防災課の事務スペース、会議室を整備する計画である。29・30年度で建設を予定している。

1 災害用トイレ

大規模地震対策等総合支援事業費
1億448万円

質疑 災害用マンホールトイレの処理能力と、災害時の対応は。

地域防災課長 約500人分の3日間分の処理が可能だが、災害用マンホールトイレのみでは、避難所を利用する人数はまかなえないと想定している。今までに整備してきた仮設トイレと併用した対応を予定している。

地域の活性化

協働によるまちづくり推進事業補助金
50万円

質疑 補助制度の内容は。

企画財政課長 協働によるまちづくりを推進する事業に対する支援。5人以上で組織し、うち半数が町内在住在勤または在学であるなどの条件を満たす団体に対し、補助対象経費の10分の10以内、上限30万円である。

防犯灯のLED化

ルミナスストリート整備事業費
5千674万円

質疑 全灯LED化の整備方針は。

地域防災課長 蛍光灯具の老朽化を考慮し、設置年が早いものなどから、5ヶ年計画で順次、LED化していく予定。28年度は本宿、竹原、中土狩地区を中心に整備を行う。

現地調査

28年度に予定している主な工事箇所などに行き、調査しました。



役場庁舎屋上防水工事
既存防水層を撤去し、新たに防水シートを設置する。



災害用マンホールトイレ設置工事
(北中学校)

みんなのお金、有効利用を！

新年度予算は、各常任委員会に付託され、慎重に審議しました。
主な質疑の内容を紹介します。

駐輪場の管理事務所

長泉なめり駅駐輪場
管理事務所整備
190万円

質疑 新たな事務所の体制は。

地域防災課長 管理人2人で、月曜日から土曜日の週6日、午前7時から2時間と、午後5時から2時間の計4時間配置する。

個人番号カード

質疑 交付に時間がかかるようだが、対応策は。

住民窓口課長 1件あたり約30分程度かかる。交付対象者に通知する際に所要時間を案内し、予約制としている。今後も工夫しながら、交付事務を行っていききたい。

コンビニ交付

住民票などのコンビニ交付サービス
4千271万円

質疑 交付可能な証明書類は。また発行可能なコンビニは。

住民窓口課長 住民票、印鑑証明書、戸籍謄抄本、戸籍の附票、所得課税証明書を予定している。大手4社のコンビニで発行が可能となるが、今後とも順次拡大予定である。

高齢者に助成

高齢者タクシー・バス利用助成事業
1千285万円

質疑 申請方法は。

長寿介護課長 原則、本人の申請により、100円の利用券を50枚交付する。家族などの申請は認める予定で、本人確認のできる書類の提示を求める。

2 展望テラスの整備

福祉会館周辺整備
7千600万円

質疑 概要は。

福祉保険課長 保健センター跡地の傾斜地を利用し、3層の展望テラスを整備する。

質疑 活用方法は。

課長 福祉健康まつりなどでステージとしての活用や、黄瀬川護岸に整備されたウォーキングコースの休憩場所、水辺の景色を楽しめる憩いの場所としての活用を想定している。



ウォーキングコースと展望テラス予定地

健康交流事業

まちなか健康交流事業
820万円

質疑 内容は。

健康増進課長 まちなかに健康器具を配置し、身近な場所で健康づくりが実践できる環境整備や、梅の木沢川沿いのウォーキングコース整備の検討、パークゴルフ場整備の可能性調査を実施する。

障害者相談支援員増

障害者相談支援包括委託
1千647万円

質疑 増員の理由は。

福祉保険課長 一般相談件数の増加に伴い、計画相談まで手が回らない状況にあることから、計画相談の専従者として2人増員する。

2



南部地区センター空調設備工事
設置後約20年となる空調設備を交換する。



同報防災行政無線デジタル化工事
大規模災害に備え、デジタル方式に変更する。



福祉会館周辺整備工事

予算の委員会審議

～建設文教委員会～

新エネルギーの利用

住宅用新・省エネルギーシステム設置費補助金 2千万円

質疑 申請見込みの内訳は。

くらし環境課長 太陽光発電システム75件、太陽熱高度利用システム4件、省エネルギーシステム76件、高効率照明器具LED700件を予定している。

三世代同居の支援

移住定住のための三世代同居支援補助金 1千万円

質疑 補助金の目的と制度の内容は。

建設計画課長 定住人口の増加をはかり、子育てや介護など、家族の支え合いを促進する目的で、三世代同居を行うための住宅取得に上限100万円、住宅改修に上限50万円を補助する。

不法投棄の対策

不法投棄防止啓発事業費 159万円

質疑 不法投棄対策費が増えている理由は。
くらし環境課長 移動式カメラ1台を購入する。

1 道路の改良工事

町道575号線改良事業 8千万円

質疑 具体的な内容は。
工事管理課長 工事延長約500m、道路幅は有効幅6mを確保しつつ、町有地内で可能な限り通行しやすい道路線形になるよう整備していく。

2 企業立地の推進

企業立地推進事業 1億1千200万円

質疑 埋蔵文化財発掘調査の対象面積は。

産業振興課長 以前に実施した予備調査に基づき、調査対象面積は全体面積1万1千500㎡のうち、約8千㎡である。

3 駿河平自然公園

公園施設改修事業 4千500万円

質疑 改修工事の具体的な内容は。
工事管理課長 ビュフェ美術館前駐車場の改修と、新たに設置する多目的トイレの関連部分を整備していく。

◆特別会計

水道事業会計

質疑 水道事業会計の総予算額が、前年度比45%増になっている主な理由は。

上下水道課長 長窪第2配水場拡張事業が28年度に完了予定であるが、公営企業会計では、工事の完了年度に合わせて予算化することになるため。

下水道事業特別会計

質疑 下水道普及率が増加しているのに対し、使用料収入を前年度比で減としている理由は。
上下水道課長 節水機器普及などによる使用水量減の傾向があるため。

現地調査



1 道路改良工事
(桃沢野外活動センター付近)



2 企業立地推進事業
(大峰遺跡発掘調査)



3 駿河平自然公園駐車場改修工事

議員が問う！28年度

4 認定こども園

北幼稚園の認定こども園化改修事業
5千500万円

質疑 認定こども園化に伴い、定員は。

こども育成課長 左記のとおり。

(単位:人)

	保育園部分	幼稚園部分	計
0歳児	3		3
1歳児	8		8
2歳児	20		20
3歳児	20	40	60
4歳児	20	42	62
5歳児	20	42	62
計	91	124	215

放課後児童会

長小放課後児童会設
計業務
300万円

質疑 具体的な整備内容は。

こども育成課長 施設は、平屋建て、定員40人程度の規模を考えている。具体的な整備内容は、今後実施する設計業務の中で検討する。

民間保育所の新設

施設整備補助金
1億4千478万円

質疑 民間保育所の新設は、既存施設に隣接するのか。また、施設の面積、定員は。

こども育成課長 町内で保育所を運営する社会福祉法人が、コミュニティながいずみ南東に新設する予定である。また、施設は平屋建て、延床面積は956㎡。定員は90人である。

5 コミュニティながいずみ改修

施設整備費
8千万円

質疑 工事請負費の内訳は。

生涯学習課長 3階ホール舞台電気設備改修工事、駅前広場改修工事、揚水・屋内消火栓ポンプ取替工事である。

6 校舎の改修

ファシリティマネジ
メント事業
1億8千794万円

質疑 小中学校で実施する内容は。

こども育成課長 左記のとおり。

長泉小	屋内消火栓改修、 内装改修ほか
南 小	屋内消火栓改修、 内装改修ほか
北 小	トイレ改修ほか
長泉中	トイレ改修ほか

図書資料の購入

資料管理事業費
1千226万円

質疑 図書館の図書資料と、視聴覚資料の割合は。

生涯学習課長 図書資料が約950万円、視聴覚資料が約50万円で、視聴覚資料の割合は、5%程度である。

学習環境の整備

ICTを活用した学習環境整備
5千37万円

質疑 具体的な整備内容は。

こども育成課長 移動式電子黒板のほか、各教室に固定式の電子黒板も設置する。長小7台、南小6台、北小12台、長中17台、北中7台の計49台を設置する予定である。

給食材料

給食物資購入費
2億14万円

質疑 学校給食食材の納入事業者の選定は。

学校給食センター所長 納入事業者からの申請を受け審査し、登録事業者を決定している。生鮮品などは、鮮度を保つための配送時間などを考慮して、町内登録事業者による納入を基本としている。



校舎内改修工事（長泉小）



駅前広場改修工事



北幼稚園改修工事

27年度補正予算

補正予算の、主な委員会質疑の内容を紹介します。

会 計	補正額
一般会計	9,264万円増
国民健康保険事業	221万円減
介護保険事業	117万円増
水道事業（支出）	1億4,145万円減
下水道事業	1,550万円減
土地取得事業	21万円増



3月17日に開催された
「みんなで子育てするまちシンポジウム」

一般会計

みんなで子育てする
まち推進事業
380万円増

質疑 事業内容は。

企画財政課長

裾野市と
共同で実施する地方創生
事業で、子育てに優しい
まちの実現に向けて、地
域全体で子育てを応援す
る社会づくりに取り組む
意識啓発をはかった上で
ワークショップなどを通
じ、ネットワークの形成
をはかっていく。

一般会計

防災資機材の
整備補助
150万円減

質疑 減額の理由は。

地域防災課長

6区の自
主防災会が予定していた
可搬ポンプ、テント、仮
設トイレなどの資機材整
備の取りやめや、12区の
自主防災会での整備内容
の変更などによるもの。

一般会計

光熱水費の減額
250万円減

質疑 役場庁舎の光熱水
費減額理由が、特定規模
電気事業者の入れによる
ものだが、契約に対する
リスク対応は。

企画財政課長

特定規模
電気事業者との契約期間
は、エネルギーの価格変
動や安定供給のリスクを
考慮し、2年間としてい
る。業者選定は、安定供
給が可能な業界大手を指
名し、万一の場合は、東
京電力による供給に切り
替えることとしている。

一般会計

不妊治療費助成金
150万円増

質疑 増額の要因は。

健康増進課長

27年度か
ら特定不妊治療の初年度
申請回数を2回から3回
に、助成額を1回15万円
から20万円に増額するな
ど、助成内容を拡充した
ことが主な要因である。

一般会計

ふるさと水と土基金
200万円増

質疑 受け入れた寄附金
を基金に積み立てるとの
ことだが、基金の目的と
残高は。

産業振興課長

土地改良
施設などの地域資源の保
全、活用による農村地域
の活性化をはかる地域住
民活動を支援する事業に
要する経費に充てるため
の基金。27年度末の見込
み残高は、808万7千
746円である。

一般会計

学校給食センター
管理費
180万円減

質疑 光熱水費の減額の
内容は。

学校給食センター所長

電気料金が60万円、ガス
料金が120万円である。

下水道事業特別会計

単独管渠整備費
2千950万円減

質疑 単独事業費・管渠
布設工事費の減額の内容
は。

上下水道課長

主に、県
の道路事業の事業量にあ
わせて減額したものであ
る。

水道事業会計

水道料金
徴収等業務委託
1億850万円減
(債務負担行為)

質疑 債務負担行為の変
更を行う理由は。

上下水道課長

27年度の
委託期間満了に伴い、プ
ロポーザル方式による業
者選定を行い、差額が生
じたため、債務負担行為
限度額を変更する。



水道料金の徴収事務などを行う
上下水道サービスセンター(役場本館1階)

条例の制定・一部改正

3月定例会では、多くの条例の制定、一部改正を慎重に審議しました。
この中から、主な委員会質疑を紹介します。

長泉町行政不服審査会条例

この条例の内容は

「行政不服審査法」が改正され、審理員制度や第三者機関への諮問手続きが導入されるため、新たに「長泉町行政不服審査会」を設置する。

長泉町職員の退職管理に関する条例

この条例の内容は

「地方公務員法」が改正され、部長職が離職後2年間は職務上の行為をするように、またはしないように要求や依頼することを禁ずることなどを定めるもの。

長泉町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

この条例の内容は

国民健康保険運営協議会の答申を受けたことから、基礎課税額、後期高齢者支援金等課税額、介護納付金課税額の限度額を引き上げるもの。

質疑 委員の守秘義務違反の有無の判断は。

行政課長 情報を漏らされた当事者による警察などへの訴えや、町の情報が漏らされた事実が確認できた場合の町からの訴えを受け、最終的には裁判所が守秘義務違反の有無を判断する。

質疑 これまでの退職者の管理はどのようになつていたのか。また、違反した場合の罰則は。

行政課長 これまでは退職者の働きかけの規制はなかった。罰則は、地方公務員法に定められており、1年以下の懲役、または50万円以下の罰金となっている。

質疑 限度額改正の要因は何か。

福祉保険課長 国は限度額超過世帯の割合を、1.5%に近づくまで引き上げる方針であり、26年度に引き続き2年連続の改正である。

その他の条例制定3件
一部改正8件

請願

長泉町火葬場整備に関する請願

請願内容

火葬場の町外移転に反対し、現在地への建て替えを。

委員会審議

・請願者からの内容説明と質疑
・当局への質疑

意見書

活火山防災対策の強化を求める意見書

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣に提出

全会一致で可決

富士山南東消防組合の発足

4月1日スタート

長泉町・三島市・裾野市と合同で、富士山南東消防組合を設置し、消防力の強化をはかります。

不採択

火葬場整備調査報告書の扱いを確認し、現在地建て替えの法的な内容の確認などを行った。



新しくなった消防署旗



土屋 誠 議員



柏木 豊 議員

長泉町議会から、富士山南東消防組合議員を選出しました。

ズバリ!

町政を問う

◆ 8人が一般質問 ◆

1 藤村 郁人 議員

1. 火葬場共同整備方針の町民説明会の開催を
2. 下水道事業の現状と展開は

2 小永井 康一 議員

1. 火葬場世論認識と移転根拠の確認を

3 溝口 伊佐雄 議員

1. 池田柊線の進捗状況を伺う
2. 幹線道路開通後の北部地区開発計画は
3. 黄瀬川右岸の公共下水道の早期着工を
4. 低所得者世帯の子弟教育支援策は
5. 施政方針

4 杉森 賢二 議員

1. 子育て教育の充実を
2. 町の広報イメージ戦略は

5 大沼 正明 議員

1. 同報無線や緊急メールなどの利活用を伺う
2. 町内の緊急輸送路に標識の設置を
3. 1月に実施したフードバンクふじのくにのフードドライブの結果を伺う

6 宮口 嘉隆 議員

1. 火葬場、町民の理解は得られたか
2. 地方創生を活かしたまちづくりは

7 下山 哲夫 議員

1. 少子高齢化時代でも地域の前進を
2. 一級河川桃沢川の護岸活用を

8 四方 義男 議員

1. オール長泉でのまちづくりを

一般質問とは…議員が町長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針など諸問題を、報告や説明を求めたり質問することをいいます。



藤村 郁人 議員



町の示した共同整備案
(広報ながいずみ 27.12.1号掲載)

Q

火葬場共同整備方針の説明会の開催を

A

正確な情報を伝える場を持ちたい

共同整備案の内容は

問 炉数を算定するための法的根拠は。また、4炉も必要なのか。

くらしい環境課長 法的基準がないため、多くの市町村で利用されている日本環境斎苑協会が発行したマニュアルにある必要炉数の算定式を用いて、算出している。単独の場合、長泉町、裾野市それぞれ予備炉を含めて4基必要で、別々に整備した場合合計で8基が必要となる。共同で整備を行った場合は、37年以降は5基と予備炉1基の合計6基が必要となる。裾野市との打ち合わせでは、一度に6基を設置せずに、4基から5基でスタートできないう検討している。まさに広域で整備するメ

リットである。実際に整備する炉数は、利用状況の推移を見ながら整備時期を決定していく。

問 例えば裾野市と共同整備した場合、4基が長泉町に割り当てられるのか。

都市環境部長 整備した炉は、裾野市と共同で融通しあって使用することになる。

問 現地建て替えはどれくらい検討したのか。

町長 昭和43年に建築し、平成元年に増築した現施設が、当時、建築基準法第51条のただし書きの許可を受けていないことが明らかになり、増築の適用が受けられない。また、建築基準法に基づく県の許可を得ての建て替えも、都市計画決定と同様の規

模や環境条件が求められているため、現地建て替えはできないと判断した。

問 町内の火葬場適地の調査は行ったか。

副町長 調査をしたが、適地ではなかった。

火葬場整備内容の丁寧な説明を

問 町民に十分な理解が得られるような説明会の開催を。

町長 広域による整備を推進する方々から裾野市との共同整備に関する要望書が提出されており、広域の優位性が伝わっていないことから、正確な情報を伝えてほしいと伺っている。現在、裾野市と進めている可能性調査の結果を踏まえ、議会への説明に加え、説明会の開催など、住民の皆様

に正確な情報を伝える場を持ちたいと考えている。

問 新たに町内の適地の建設を検討しないのか。

町長 あくまで主体的に総合的な判断をした結果、施政方針でお示したとおり、裾野市と共同で整備を進めたい。

その他の質問

・下水道整備の展開は



現地建て替えの可能性は



小永井 康一 議員

Q

火葬場整備の世論認識は

A

総合的な判断をした結果、裾野市と共同整備を進める

火葬場整備調査報告書

問 一般論で考えた場合にコストが上がり、利便性が下がる施設を広域施設として認識するのか。

くらし環境課長 火葬場を計画するには、一般論で判断しない。コストや利便性以外に、法規制、周辺環境への影響、規模機能の充実など、総合的判断が必要である。

問 聞くところによると、火葬場更新は20年以上前から懸案事項だが、判断が遅れた責任は町長にあるのか、副町長にあるのか。

副町長 質問は過去の町長の判断に起因し、現在大変重大な問題がおきているかのような前提だが、そのようには考えていない。

い。いつの時代を指しているのか分からない。どのような背景から議員がこのような仮説を立てられたか分からないが、このような前提の仮説への質問にはお答えすることはない。

現地建て替えの可能性

問 隣接する葬祭場と連携し、土地や業務の相互活用する可能性は。

副町長 現在の広域推進計画の方針の中で、その必要性を感じていない。また、現在地ではできないと考える。

世論把握と住民の理解

問 火葬場移転に関して、住民の理解は得られたか。

副町長 町民一人ひとりの考えは各々で、すべての町民が同意しているとは思っていない。新たな情報は、随時お伝えしていく。

問 町長と民意に見解の相違がある場合は。

町長 火葬場は、整備が非常に難しい施設で、すべての町民の理解を得ることは難しいと考えている。どのような施設においても、賛成、反対、分からないというのが常である。今後も町の方針を理解していただけるよう説明していく。

問 火葬場計画検討委員会の答申にある、町民の理解を得るための誠実な対応の実績は。

副町長 まず多くの町民に取り組み方針や経過をお知らせすることを目的に、その時点で説明でき

る情報を広報12月1日号で特集を組んでお知らせした。今後、新たな情報が出たら、随時説明していく。

問 議会特別委員会の提言と、火葬場計画検討委員会の答申は、法的にどちらが重いのか。

町長 議決の上で設置された特別委員会からの提言だけをもって、何が確保されるのか、決定、決着するものではない。特別委員会から頂いた提言内容や、行政がさらに必要なさまざまな観点から検討した上で決断したことを、事業予算や、手続き上必要な議案として上程し、改めて議会の判断を仰ぐのが、議会制民主主義に基づく地方自治制度である。



溝口 伊佐雄 議員



市街化区域編入が期待されるエリアの一部

Q 北部地区新設道路計画は

A 課題を整理し事業実施に向けて努力していく

北部地区への新設道路

問 渋滞状況の認識は。

建設計画課長 駿河平地区の金融機関や3力所の工業団地、県立静岡がんセンターなどに向かう車両が増え、国道246号、町道城山尾尻線の下長窪交差点周辺や城山交差点

周辺で、朝夕の通勤時間帯を中心に混雑が発生している。

問 将来を見据えた新設道路の計画は。

都市環境部長 27年度、

国道246号に接続する新設道路の可能性調査を行った。その結果を基に28年度には、国、警察な

ど関係機関との協議を行うための検証作業を進め、事業実施に向けて努力をしていく。

黄瀬川右岸の公共下水道の早期着手を

問 池田終線開通で下流域下水道管への接続が可能となるが、早期の着手はできないか。

上下水道課長 現在、下水道計画区域内の三島駅北口周辺などの整備を進めており、計画区域としていない黄瀬川右岸地域の公共下水道整備は、早期に着手できる状況にない。

Q 北部地区の土地利用見直しは

A 28年度末の都市計画決定を目指している

土地利用計画

問 県立静岡がんセンター周辺の将来的土地利用は。

都市環境部長 第4次総合計画後期基本計画で

「県立静岡がんセンター等を核とした中核的な地域の創出」を掲げており、医療健康分野の産業集積

や健康をテーマとし、人が集まる地域づくりを実現する新たな拠点形成を目指している。今後、県立静岡がんセンターや県立静岡がんセンターや県立静岡がんセンターや県立静岡がんセンター

市街化の地区・時期

問 線引き地区と時期は。

部長 県立静岡がんセン

ターと県医療健康産業研究開発センター、これら施設と現在の市街化区域を結ぶ町道下長窪駿河平

線沿道の25〜30ha程度を市街化区域として検討している。国、県との協議があるが28年度末の都市計画決定を目指している。

その他の質問

・池田終線の進捗状況
・低所得者世帯の子弟教育支援策



静岡県内のご当地キャラが勢揃い！
(しずおか市町対抗駅伝)



杉森 賢二 議員

Q 子育て教育の充実を

A 不足する保育量の確保に努める

子育て教育の現状は

問 町民に負担がかからないための環境整備が必要と考えるが、子ども・子育て支援事業の現状と進展は。

教育部長 不足する保育量を確保するため、民間による認可保育所1カ所

と、町立幼稚園の認定こども園化への整備を進めている。また、0歳児から2歳児までを受け入れる小規模保育事業所2カ所を町で認可し、園児の受け入れ枠の拡大をはかっている。放課後児童会は、28年度に長泉小学校の放課後児童会を1カ所増設する予定である。

問 町民に負担がかからないための環境整備は。

部長 待機児童が発生している状況を少しでも早く解消するため、民間による認可保育所、町立幼稚園の認定こども園化、小規模保育事業所の整備支援などスピード感を持って進めていく。

問 児童虐待の対策は。

こども育成課長 関係3課で毎月定例会を開催し、支援が必要な児童や家庭の情報共有化し、保育園、幼稚園、小中学校と連携し早期発見に努めている。関係機関と連携し、子どもの生命を守ることを最優先に、児童虐待の防止に努めていく。

Q 町の広報イメージ戦略は

A 新たな取り組みを検討する

町の新たな広報戦略を

問 ご当地品の発掘と発信で長泉ブランドを。

産業振興課長 商工会と協議を行っている。一般の「干し芋」を契機に、さらに前進できるように、鋭意取り組んでいきたい。

問 町施設の再生可能エネルギー活用計画は。

総務部長 施設の設備に応じた再生可能エネルギーの有効活用をはかり、環境に優しい施設管理を進めたい。現在のPPSとも比較検討を行い、今後の対応を検討していきたい。

問 若い世代のまちづくりに参加に対する町の考えと団体への支援制度は。

部長 若い世代が活躍しやすい環境整備をさらに推進する必要がある。協働によるまちづくりを推進する事業に対して支援をはかるため、28年度に補助制度を創設する。

問 町内団体などのご当地キャラ計画に対する町の支援、公認は。

部長 まちづくりや、にぎわいの創出の視点で、町の広報戦略などに合致するものであれば、当該団体が活躍しやすい環境整備、技術的な支援などの検討をしたい。

※PPS…電気を安価に供給する電力業界への新規参入事業者。



大沼 正明 議員



デジタル化される同報無線

Q

同報無線と緊急メールは積極的な運用を

A

内容や課題により配信の適否を研究する

同報無線とメール運用は

問 通報内容は。

地域防災課長 緊急通報として、地震情報、避難勧告や避難指示を行う大雨情報、火災情報、公害情報、食品情報、国民保護情報に加え行方不明者の搜索、不審者緊急情報を、また一般通報として催事の開催などの案内や選挙の投票啓発に関する情報などを通報している。

問 現在、火災情報の放送やサイレンの吹鳴がないが、自主防災会への火災情報の伝達方法は。

消防長 消防団と協議し火災発生地区の管轄分団がサイレンを吹鳴させる体制とした。27年度開設した2市1町消防指令センターに、24時間体制で

確認できる災害情報テレホンサービスが整備されているので利用していただきたい。

問 同報無線をデジタル化するメリットは。

地域防災課長 通信チャネルの多チャンネル化と双方方向の音声通話や高速データ通信が可能となることや、パソコンなどとの接続や他の情報システムとの連動が容易となり、今後の防災情報システムの構築が可能となることである。

問 デジタル化した後の現在の防災ラジオは。

課長 29年度にデジタル化は終了予定だが、34年11月までは防災ラジオとして使用可能である。その後はAM・FMラジオのみの機能となる。

問 障がい者のための19メールの登録状況は。

住民福祉部長 21年当時、3市2町で消防通信業務を共用する中で、6名の方が登録した。昨年10月から共用を開始した三島市、裾野市及び長泉町での消防通信業務にもサービスは引き継がれる。今後、改めて機会を捉え説明する場を設けると共に町のホームページや「障がい福祉サービス一覧」にも制度概要を掲載することで、引き続き制度の周知に努める。

問 緊急メールに、行方不明者搜索依頼情報の配信を。

地域防災課長 現在緊急Eメール配信サービスでは、犯罪性がある防犯情報や、防災情報の配信を主に行っている。行方不

明者の搜索に関わる情報の取り扱い、同報無線を通じて町内一斉に情報を提供しており、休日、夜間などの配信処理体制の確保、登録者のニーズに合わない配信情報により登録の解除などの課題があり、近隣市町も対応が分かれている。今後、行方不明者搜索依頼の情報提供の適否について研究する。

その他の質問

・町内の緊急輸送路に標識の設置を
・1月に実施したフードドライブの結果は



こども交流センター（仮称）を備えた複合施設



宮口 嘉隆 議員

Q 火葬場整備の方針は

A 広域で行うことに優位性があると総合的に判断した

今後も町の方針をご理解いただけるように説明していく。

ことに優位性があると総合的に判断し、方針を示した。

ができるまで常識的に必要な修繕は行う。

町民の理解は

問 現地・共同の声、それぞれどれくらい受け止めているか。

副町長 いろいろな意見は把握している。火葬場は整備が非常に難しい施設で、すべての町民の理解を得ることは難しい。

問 整備方針を急いだ訳は。

副町長 老朽化が著しい火葬場の整備手法にこれ以上時間を費やすことは得策ではないと考え、消去法ではなく、広域で行う

副町長 いろいろな意見は把握している。火葬場は整備が非常に難しい施設で、すべての町民の理解を得ることは難しい。

副町長 老朽化が著しい火葬場の整備手法にこれ以上時間を費やすことは得策ではないと考え、消去法ではなく、広域で行う

副町長 現火葬場は耐用年数も過ぎ、寿命を想定することはできない。長期的ではなく、次の施設

Q 地方創生を活かしたまちづくりは

A 新型交付金の活用を積極的にはかっていく

金 地方創生による交付

問 交付金をどのように捉えているのか。

企画財政課長 当町のまち・ひと・しごと創生総合戦略の達成につながる交付金の活用を積極的にはかっていく。

問 コンパクトなまちづくりを目指す計画は。

総務部長 第4次総合計画後期基本計画の施策「都市構造の変化に対応した都市機能の配置を促進する」の中に位置づけ、計画期間内に立地適正化計画等関連計画を策定し、推進していく。

問 近隣市町が子育てに長泉方式を採用する。次は何を柱にするのか。

部長 「第2子幼稚園保育料の無償化」「こども交流センター（仮称）の整備」などの新たな子育て施策を展開するとともに、「教育支援」の充実をはかる。

問 公園広場に遊具の増設を。

工事管理課長 各公園広場の状況を考慮し、必要に応じて対応していく。

問 車検場移転に伴う鮎壺公園の計画状況は。

建設計画課長 移転が決まった段階で測量や設計を行う予定である。



下山 哲夫 議員



環境整備が期待される桃沢川

Q

荒廃した山林対応は

A

関係者に適正な管理を要請していく

小水力発電の導入を

問 用水路を使つての小水力発電への対応は。

都市環境部長 再生可能

エネルギーの活用に注目が集まる中、町独自の方式で普及に取り組んでいる。民間の事業者から提案があつた場合、内容を

精査し、実施が見込める場合、関係機関の調整を行っている。

ファーマーズマーケットの設置を

問 農家レストランを併設した販売所の設置を。

建設計画課長 市街化調整区域での建築は都市計画法の基準に適合したも

のなければ建築できない。ファーマーズマーケットや加工施設の設置は厳しい現状である。

有害鳥獣の減少を

問 荒廃した山林を所有する不在地主への町の対応は。

産業振興課長 手入れの

行き届かない山林の荒廃が、鳥獣の住みやすい環境を作り、鳥獣による農作物への被害を拡大していると言われている。法令に基づき、町から直接関係者に現状を伝え、適正な管理を要請することは可能である。

Q

一級河川桃沢川の護岸整備活用を

A

可能であれば県に要望したい

ウォーキングロードを

問 桃沢川の護岸を環境整備を兼ね、ウォーキングロードとして整備することはできないか。

建設計画課長 これまで

黄瀬川沿いの河川背後地を利用した遊歩道整備を行ってきた。この事業は

県が行う河川海岸環境整備事業で、町が事業費の2分の1を負担し、県が整備を行うものである。桃沢川は、県の管理で、町が直接整備することはできないが、上長窪地先の横手橋から下長窪地先の山岸橋の左岸の区間は、河川背後地に人が通れる幅の官地があり、整備す

ることは考えられる。今後、河川背後地の余剰地が利用でき、地元からも要望があれば、町も調査を行い、可能であれば県に整備の要望をしたい。



3市3町の移住・定住ガイドブック



四方 義男 議員

Q

定住者の増加を目指して

A

首都圏からの移住・Uターン施策を進める

町の発展は万全な職員体制で

問 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は役場職員の力によるところも大きい。町の将来を担いつないでいくため、正規職員の確保・体制作りが必要だ。町の計画は。

町長 25年に策定した定員管理計画に基づく職員採用や職員研修を通じて人材づくりに取り組んでいるが、町政を取り巻く環境は変化しており、28年度には職種ごとに必要な職員体制を再検討し、増員を視野に入れて人材確保に努めていく。また、機構改革も行い、今後とも町の抱える課題に的確かつ柔軟に対応できる組織作りに取り組んでいく。

問 具体的にいつ実施するのか。

総務部長 現在の定員管理計画は30年4月までとなっているが、28年度、行政ニーズなどに合わせ計画を見直す予定である。

首都圏から町出身者の呼び戻しを

問 都内の移住相談センターなどの施設活用やラッピングバスなどの媒体も使い、町出身者の呼び戻しや移住PRで県下の移住希望地としたいが。

部長 首都圏にいる町出身者への呼びかけは重要である。関係各施設へPRパンフレットの配架やセミナーなどへの参加を考えており、駿東地区3市3町が連携して作成しているガイドブックを移住相談センターに設置していただく予定である。

また町独自の取り組みとして町内の高校生が、大学などを卒業後、正規雇用者として町内に5年間居住した場合、支援金を交付する制度を新たに実施予定である。

問 移住希望者の利便性向上に役場窓口の一本化を。

部長 移住定住の問い合わせ内容は多岐にわたっており、ワンストップでの的確な情報提供は難しい。窓口は企画財政課とし、関係各部署と情報を共有し一層の連携をはかり体制の充実をはかりたい。

防災教育や町の紹介の工夫を

問 新規住民に町の紹介の周知を。

生涯学習課長 新規住民に防災だけでなく、町の成り立ちを紹介することは重要で、「暮らしの便利帳」などを活用した紹介方法を、今後研究する。

期待しています

私の要望・意見

1月15日号の「わが町たんけんクイズ」に応募していただいた中から、ご意見を抜粋して紹介します。

ウェルピアの施設は、利用しやすいくて、近くていいなと思うけど、もっと子どもが楽しく遊べるプールを作ってほしい。

(10代 女性)

子育てと、公共交通の記事に興味があります。皆さんも感じている事のように、子どもが多いのに公園が少ない事、バスがない事で、子どもが車で送迎してもらおう事が当たり前になり、自立心が養われない事がとても気になります。

(40代 女性)

がん検診受診率の事が書かれていました。受診率向上で皆が健康に暮らせるまちになることを願います。

(50代 男性)

景観条例が制定されることで、嬉しく思います。長泉町からは富士山が間近に大きく見えるのに、市街地では電柱が邪魔して、あまり美しく見えません。条例の制定を機に、電柱も埋めて美しい景観にしてほしいです。

(10代 女性)

富士山が見えなくなっている所が増えていて、気になっていましたが、景観条例ができたことで、素晴らしい景色の所が残っていくだろうと、期待しています。

(70代 男性)

「高齢者の移動手段は」の記事を読み、主要施設をつなぐ交通手段の整備は、ぜひ充実させてほしいと思いました。

(10代 女性)

県内外からも人気があるという長泉町を、もっと知名度が上がるような政策を打ち出したいだけのように、お願いします。

(40代 女性)

正月太りで太ってしまったので、ウェルピアのマシナームを初めて利用してみたいです。

(50代 女性)

会議録もご覧下さい!

議会ながいずみでは、紙面の都合により内容を要約してあります。質疑・答弁の詳細は会議録に詳しく掲載されていますので、ぜひご覧ください。会議録は町民図書館・役場行政課・議会事務局にあります。



また、町のホームページでもご覧いただけます。

◀会議録検索システムトップ画面

6月定例会は
6月6日(月)に
開会予定です。

インターネットで定例会をご覧ください

定例会の様子がインターネットで視聴できます。
定例会の開催時間帯には、生中継で配信しています。
終了後は、開催日の約5日後から録画されたものを視聴できます。



▲議会インターネット中継画面

議員が
聴く!

まちかどインタビュー

～転入者の声～



①どちらから転入されましたか。②長泉町を選んだ理由は。
③今までの街と比べて印象は。④町内のお気に入りの場所は。⑤町に望むことは。

- ①沼津市
②こども医療費がかからなく、安心して子育て
ができると思った。
③環境整備がしっかりしていて、住んでいる人
や、学校の子どもたちが落ち着いているイ
メージがある。
④ウェルピアながいずみニコニコ広場
⑤大きな遊具があり、子どもが自転車で遊べる
駐車場完備の広い公園が欲しい。
(30代 男性)

- ①沼津市
②結婚のため
③地域のコミュニティがあり溶け込みやすかつ
た。飲食店が少ない印象がある。
④ウェルピアながいずみ
駿河平の景観スポット
⑤買い物が便利な大型ショッピングモールを誘
致してほしい。
(30代 女性)

ご意見ありがとうございました。

「愛鷹山〇神社」
ヒント…桃沢川上流の神社



わが町
たんけんクイズ

ここは
どこ
でしょう?

Vol.116

町内にあるジオポイン
トを出題します。〇の中
に入る言葉をお答えくだ
さい。正解者の中から抽
選で10人の方に図書カ
ードを贈呈します。

応募方法

●はがきにクイズの答え、
住所、氏名、年齢、電
話番号、議会ながいず
みの感想を書いてお送
りください（お寄せい
ただいたご意見は紙面
で紹介させていただきます
場合があります）。

※メ切は5月31日（火）
消印有効です。当選者
の発表は賞品の発送を
もってかえさせていた
だきます。

宛先

〒411-8668
長泉町中土狩828番地
長泉町議会
広報広聴委員会

前回の正解は

「5」でした。

（応募総数54通）

編集後記

3月定例会の内容をお
届けします。今定例会は、
新年度予算として過去最
大の予算額となりました。
昨年度は、昭和36年に
都市計画決定した、池田
終線の第一・二期区間8
00mが開通し、その区
間の旧温水プール跡地に
本年度は、こども交流セ
ンター（仮称）の整備が
行われます。

重点施策は、健康づく
り・環境対策・子育て支
援・高齢者支援の4つで
したが、本年から教育支
援が加わり、さらに教育
施策の充実がはかられま
す。

議会としては、しっか
りとチェックしてまいり
ます。

発行責任者

議長 柏木 豊
●広報広聴委員会

委員長 栗原 睦明

副委員長 杉森 賢二

委員 山田 勝

委員 植松 英樹

委員 藤村 郁人

委員 下山 哲夫

委員 大沼 正明

委員 小永井 康一